

CentreCOM[®] LA-98

インストールマニュアル NetWare 5

アライドテレシス(株)

本書は、CentreCOM LA-98のNetWare 5クライアントドライバをMS-DOSにインストールする手順を説明したものです。詳細は、ドライバディスクに収録されている「¥netware.dos¥readme.odi」をご覧ください。

1 ドライブ名

以下の説明では、CD-ROMドライブを「Q:」、フロッピーディスクドライブを「B:」、MS-DOSがインストールされているハードディスクドライブを「A:」と仮定します。

2 MS-DOSクライアントドライバのインストール

NetWare 5クライアントのインストールと共に本製品のドライバを組み込む場合は、次の手順で行います。ここでは、DOS環境でNetWare 5のCD-ROMからインストールする方法を説明します。その他の場合は、マニュアルを参照してください。

- MS-DOSを起動し、NetWare 5のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。
- 「INSTALL.BAT」コマンドを入力します。

A:¥>q:
Q:¥>install PC98
- NetWare 5クライアントインストーラの画面にしたがって、お客様の環境に合った設定を行います。
- インストール途中で、「LANドライバタイプを選択してください」というメッセージが表示されますので、「16ビットLANドライバ」を選択します。
- ドライバー一覧が表示されますので、「USER SPECIFIED 16-BIT DRIVER」を選択し、「Enter」キーを押します。

- CentreCOM LA-98ドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入して、NetWare 5用ワークステーションドライバが格納されているパスを指定し、「Enter」キーを押します。

B:¥NETWORK.DOS¥NW500

- リスト一覧に、「CentreCOM LA-98」が表示されますので、方向(または)キーで選択し、「Enter」キーを押します。
- 続いて、CentreCOM LA-98 LAN Driverの設定を行います。ここでは、以下の3つの項目について、お客様の環境に合った設定を行ってください。設定が終了したら、「F10」キーを押します。

・ベースI/Oポート

CentreCOM LA-98が使用するI/Oアドレスを、リストから選択します。選択可能な値は以下の通りです。あらかじめ、本ドライバディスクに収められているハードウェア診断プログラム(ETHDIAG.EXE)などで、ご使用のハードウェアの空きI/Oポートを調べておいてください。

C2D0、C4D0、C6D0、C8D0(デフォルト)、C9D0、CAD0、CBD0

・Media Frame Type(s)

使用するフレームタイプを設定します。どのフレームタイプを使用するかは、お客様の環境により異なりますので、不明な場合はシステム管理者にお問い合わせください。

「Frame ETHERNET_802.3」は、NetWare 3.11以前のものにおいて、デフォルトで使用されるフレームです。NetWare 5/4.1xJ/3.12JとNetWare 3.11J以前のサーバが混在している環境では、この記述を追加する必要があります。「Frame ETHERNET_802.2」は、NetWare 5/4.1xJ/3.12Jにおいて、デフォルトで使用されるフレームです。「Frame ETHERNET_II」は、弊社CentreNET PC/TCPなどのTCP/IP通信ソフトウェアで使用されるフレームです。

注意 弊社CentreNET PC/TCPを同時に使用する場合、必ずフレームタイプに「ETHERNET_II」を入れてください。

•Optional Node Address

お客様の環境によって、Node Addressを独自に設定する必要がある場合に入力します。

通常、ここは何も入力せずに空欄のままとします。

- LANドライバの設定が終了すると「インストール環境設定の要約」が表示されます。
設定内容を確認の上、「F10」キーを押します。
- NetWare 5 クライアント関連ファイルのコピーが開始されます。
- コピー終了後、再起動するよう表示されますので、フロッピーディスクドライブからドライバーディスクフロッピーディスクを抜いて、再起動します。
以上で、NetWare 5 クライアントへのドライバのインストールは終了です。

3 インストール結果

NetWare 5クライアントおよび本製品ドライバのインストールが終了すると、C:\NOVELL\CLIENT32(デフォルト)に必要なファイルがコピーされ、STARTNET.BAT、NET.CFGが作成されます。また、AUTOEXEC.BATにSTARTNET.BATとSET TZ=の記述が追加されます。

以下に、作成されたSTARTNET.BAT、NET.CFGの例を示します。例のSTARTNET.BAT、NET.CFGは、「install dosv」を実行したときに、デフォルト値を指定した場合です。

弊社CentreNET PC/TCPなどを使用する場合は、適宜NET.CFGをエディタ編集してください。

作成された STARTNET.BAT

```
SET NWLANGUAGE=NIHONGO
A:\NOVELL\CLIENT32\NIOS.EXE
LOAD A:\NOVELL\CLIENT32\NBIC32.NLM
LOAD A:\NOVELL\CLIENT32\LSLC32.NLM
LOAD A:\NOVELL\CLIENT32\CMSM.NLM
LOAD A:\NOVELL\CLIENT32\ETHERTSM.NLM
LOAD A:\NOVELL\CLIENT32\LA98.LAN
FRAME=ETHERNET_802.2 PORT=C8D0
LOAD A:\NOVELL\CLIENT32\TRANNTA.NLM
LOAD A:\NOVELL\CLIENT32\IPX.NLM
LOAD A:\NOVELL\CLIENT32\SPX_SKTS.NLM
LOAD A:\NOVELL\CLIENT32\CLIENT32.NLM
```

作成された NET.CFG

```
Link Driver LA98
PORT C8D0
FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester
FIRST NETWORK DRIVE F
NETWARE PROTOCOL NDS BIND
SHORT MACHINE TYPE PC98
LONG MACHINE TYPE NEC_PC
RESOLVE NAME USING PRIMARY OFF

NIOS
LINE DRAW CHARS "

Protocol IPX
IPX SOCKETS 40
```

上記NET.CFGは、NetWare 5のみの環境に対応したものです。



ご注意

- 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1998 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。

NetWareは米国Novellの登録商標です。

PC/TCPは米国FTP Software, Inc.の登録商標です。

Windows、WindowsNT、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1998年12月9日

Rev.A 初版